



平成31年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年1月15日

上場会社名 株式会社MORESICO 上場取引所 東
 コード番号 5018 URL <http://www.moresco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 赤田 民生
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 竹内 隆 TEL 078-303-9010
 四半期報告書提出予定日 平成31年1月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成31年2月期第3四半期の連結業績（平成30年3月1日～平成30年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第3四半期	21,816	4.9	1,793	3.8	1,950	1.9	1,294	11.7
30年2月期第3四半期	20,797	4.9	1,728	△2.4	1,914	△0.7	1,158	△1.3

(注) 包括利益 31年2月期第3四半期 1,053百万円 (△28.0%) 30年2月期第3四半期 1,463百万円 (177.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第3四半期	133.70	—
30年2月期第3四半期	119.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年2月期第3四半期	28,576	17,657	54.7	1,630.85
30年2月期	27,257	17,339	56.2	1,584.28

(参考) 自己資本 31年2月期第3四半期 15,642百万円 30年2月期 15,328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	20.00	—	25.00	45.00
31年2月期	—	25.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

31年2月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 5円00銭

3. 平成31年2月期の連結業績予想（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	7.4	2,450	5.2	2,750	5.8	1,700	4.8	175.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年2月期3Q	9,696,500株	30年2月期	9,675,800株
② 期末自己株式数	31年2月期3Q	105,097株	30年2月期	648株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年2月期3Q	9,680,387株	30年2月期3Q	9,671,732株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

平成31年1月22日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
3. 補足情報	7
(1) 製品およびサービスに関する情報	7
(2) 海外売上高	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、戦後最長に並んだといわれる景気回復局面にあるとはいうものの、相次ぐ自然災害の影響を受け、企業の生産活動は一進一退で推移するなど、景気に足踏み感が見られます。また、海外経済についても、米中貿易戦争や米国金利上げによる新興国からの資金流出などの影響により不安定さが増し、先行き景気減速が懸念される状況です。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、売上高は21,816百万円（前年同期比4.9%増）となりました。利益面では原材料価格の上昇等により利益率の低下を余儀なくされたものの、売上総利益は増益を確保したことにより営業利益は1,793百万円（前年同期比3.8%増）、経常利益は1,950百万円（前年同期比1.9%増）となりました。また、特別利益として投資有価証券売却益が加算されたこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,294百万円（前年同期比11.7%増）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

①日本

（特殊潤滑油）

主力のダイカスト用油剤は、顧客での堅調な生産状況に加え新製品である少量塗布型離型剤の拡販により、また切削油剤は国内における既存顧客への増販および新規顧客の獲得により、共に好調に推移しました。

（合成潤滑油）

ハードディスク表面潤滑剤は、上期に引き続き輸出が好調に推移したものの、国内向けの出荷が減少したことにより、売上は前年同期比微増に留まりました。一方、高温用潤滑油は、自動車ベアリング用グリース基油用途での出荷が顧客での輸出が増加したことにより好調に推移しました。

（素材）

数量面においては、上期好調であったポリスチレン可塑剤用途での流動パラフィンの出荷が、第3四半期に入り顧客での設備定期修理による工場稼働率低下の影響を受け減少に転じたものの、医薬・化粧品向けの出荷が好調に推移したこと等により増収を確保したことに加え、原材料価格上昇に伴う販売価格の引き上げにより売上は前年同期を上回りました。

（ホットメルト接着剤）

粘着および自動車用途での出荷は、既存顧客への増販および新規顧客の獲得により増加した一方で、衛生材用途での出荷は顧客での販売減の影響を受けたことにより、売上は前年同期並みで推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は16,343百万円（前年同期比4.7%増）、セグメント利益は1,168百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

②中国

特殊潤滑油は、高真空ポンプ油および切削油剤が新規拡販等により増収となったこと等により、またホットメルト接着剤は、粘着、自動車およびバスマット用途での出荷が大幅に増加したことから、共に前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は2,684百万円（前年同期比3.8%増）、セグメント利益は264百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

③東南／南アジア

好調な自動車生産に支えられ、切削油剤、作動油、ダイカスト用油剤の出荷が好調に推移しました。またホットメルト接着剤についても、既存顧客での拡販および新規顧客の獲得により出荷は好調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は3,560百万円（前年同期比7.1%増）となりましたが、インドネシアルピア相場下落等に起因する原材料価格の上昇により、セグメント利益は312百万円（前年同期比9.8%減）となりました。

④北米

主力のダイカスト用油剤の売上は前年同期並みであった一方で、熱間鍛造潤滑剤は顧客でのリサイクル使用等の影響を受け、前年同期を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は578百万円（前年同期比9.0%減）、セグメント損失は10百万円（前年同期は3百万円の損失）となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,715	3,468
受取手形及び売掛金	7,011	7,275
商品及び製品	2,384	2,656
原材料及び貯蔵品	1,796	1,886
その他	372	604
貸倒引当金	△25	△21
流動資産合計	15,253	15,869
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,151	3,516
機械装置及び運搬具(純額)	1,713	1,628
土地	2,427	2,424
その他(純額)	736	1,403
有形固定資産合計	8,027	8,971
無形固定資産		
のれん	729	633
その他	785	701
無形固定資産合計	1,514	1,335
投資その他の資産	2,462	2,402
固定資産合計	12,004	12,708
資産合計	27,257	28,576
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,239	4,675
短期借入金	1,769	2,153
未払法人税等	179	367
賞与引当金	466	268
その他	1,141	1,780
流動負債合計	7,794	9,242
固定負債		
長期借入金	1,329	909
退職給付に係る負債	418	422
その他	378	346
固定負債合計	2,124	1,677
負債合計	9,918	10,919
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,098	2,118
資本剰余金	1,958	1,979
利益剰余金	10,748	11,558
自己株式	△1	△172
株主資本合計	14,804	15,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	104	35
為替換算調整勘定	423	117
退職給付に係る調整累計額	△2	8
その他の包括利益累計額合計	524	159
非支配株主持分	2,011	2,015
純資産合計	17,339	17,657
負債純資産合計	27,257	28,576

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
売上高	20,797	21,816
売上原価	13,663	14,504
売上総利益	7,134	7,312
販売費及び一般管理費	5,406	5,519
営業利益	1,728	1,793
営業外収益		
受取利息	11	12
受取配当金	9	11
持分法による投資利益	167	158
その他	42	57
営業外収益合計	228	238
営業外費用		
支払利息	13	12
為替差損	5	37
その他	24	32
営業外費用合計	42	81
経常利益	1,914	1,950
特別利益		
投資有価証券売却益	—	76
特別利益合計	—	76
税金等調整前四半期純利益	1,914	2,025
法人税、住民税及び事業税	536	653
法人税等調整額	3	△116
法人税等合計	539	537
四半期純利益	1,375	1,488
非支配株主に帰属する四半期純利益	217	194
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,158	1,294

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年11月30日)
四半期純利益	1,375	1,488
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24	△70
為替換算調整勘定	46	△354
退職給付に係る調整額	12	10
持分法適用会社に対する持分相当額	5	△21
その他の包括利益合計	88	△435
四半期包括利益	1,463	1,053
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,240	929
非支配株主に係る四半期包括利益	223	124

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年11月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南/南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,403	2,447	3,315	632	20,797	—	20,797
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,204	138	8	4	1,354	△1,354	—
計	15,607	2,586	3,323	636	22,151	△1,354	20,797
セグメント利益又は損 失(△)	1,093	256	346	△3	1,692	36	1,728

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額36百万円には、セグメント間取引消去46百万円、たな卸資産の調整額△9百万円および貸倒引当金の調整額△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南/南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,208	2,491	3,543	574	21,816	—	21,816
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,135	193	18	4	1,349	△1,349	—
計	16,343	2,684	3,560	578	23,165	△1,349	21,816
セグメント利益又は損 失(△)	1,168	264	312	△10	1,733	60	1,793

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額60百万円には、セグメント間取引消去53百万円、たな卸資産の調整額7百万円および貸倒引当金の調整額0百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

インド子会社であるMORESCO HM&LUB INDIA PRIVATE LIMITEDにおいて先行費用が発生したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを「日本」、「中国」、「東南アジア」および「北米」の4区分から、「日本」、「中国」、「東南/南アジア」および「北米」の4区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 補足情報

(1) 製品およびサービスに関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年11月30日)

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年四半期比(%)
化学品事業	21,776	104.9
特殊潤滑油	9,868	105.1
合成潤滑油	2,147	105.0
素材	2,918	109.0
ホットメルト接着剤	5,545	102.4
その他	1,298	105.2
賃貸ビル事業	40	100.0
合計	21,816	104.9

(2) 海外売上高

当第3四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年11月30日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I. 海外売上高(百万円)	7,512	653	81	8,246
II. 連結売上高(百万円)				21,816
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	34.4	3.0	0.4	37.8

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………中国、インドネシア、タイ、シンガポール

北米……………米国、メキシコ

その他……………アラブ首長国連邦

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。